

こんな給与じゃやっていけない???

12月9日の朝日新聞に「過酷残業、低賃金にコロナ禍追い打ち 保育士の処遇抜本改革急務」と大きな見出しがでていました。当園がこの標題に当てはまるかどうか保育士に直接聞いてみるのは勇気がいりますが、幼い命を預かる保育士の仕事は、多くの業務と責任の重さに比べ、賃金水準が低いとされています。そんな中、岸田文雄政権は2022年に月9千円の賃上げを行う方針を打ち出しました。厚生労働省の20年調査によると、保育士の平均月収（賞与も含む）は、30万3千円。全産業平均は35万2千円で依然として約5万円の開きがあるとのことです。



保育士が人々の暮らしに不可欠なエッセンシャルワーカーにも関わらず、生涯にわたって働き続ける環境でないところが多いという現実があるのです。しかし、給与を上げようにも保育園の収入である委託費は「公定価格」で決められており園長がいくら経営努力をしても限界があるのですが、それでも何とか給与は上げていくよう努力するのが園長の役割です。それにしても、一体どれだけの給与をもらえば、生活が豊かになるのでしょうか？

「衣食が足りて礼節を知る」という諺があります。「着るものや食べるものが十分にあって初めて、人は礼儀や節度をわきまえるようになる。生活にゆとりがないと精神にも余裕は生まれない。」と言われます。

一方、ある僧侶は「足ることを知らば貧といへども富(ふ)と名づくべし、財ありとも欲多ければこれを貧と名づく」と言います。清楚な生活でもそれで満足と思えば豊かな生活だし、そこそこ収入があっても、あれも欲しいこれも欲しいなどと際限なければ、今の生活に満足いかないことになる。そのように考えると、生活が豊かであるということは、心のあり様が大きく影響しているということなのではないでしょうか？

岸田首相の所信表明演説で未来を切り開く「新しい資本主義」を模索すると発言しています。そもそも資本主義とは、常に資金を投資して人々を引き付ける新しい商品開発し利益を上げていくシステムです。人間の欲望を刺激し、不必要とさえ思われるものにも、楽しさや便利性、デザイン性などの付加価値をつけて購買意欲を掻き立てます。そのことによって、現代は何をするにしてもお金がないと楽しめないような社会に仕立て上げられてきているように思います。そこが生活を苦しめているのでは？



若いころは安月給でも楽しかった生活がありました。3Kの厚生年金住宅の家賃は4万円。電話は黒電話。テーブルは大型ごみで捨てられた時代物の味のある楕円テーブル、その上にクロスを敷き、牛乳瓶に季節の野花を1輪。天井から釣り下がった傘電球の温かい光がテーブルを照らしていました。カーテンはシーツを加工したお手製のもの、本棚は三段ボックスを加工したもの。壁掛けタペストリーとして大きな模様入りの生地を買ってきて壁に貼り付けて楽しんでいました。唯一の贅沢は、ボーナスで買ったヤマハのクラブノーバと全自動洗濯機。休みの日は近くの映画館やパチンコ、そしてお昼から立ち飲みへ。公園では季節ごとにイベント。ジャズ演奏やバザールなどが開催され、周りでは将棋大会が行われていました。そんなにお金を使うこともなく楽しい日々を過ごしていました。

さて、本当に大切なものや必要なものとは、どんなものでしょう？今の時代、財布の中のお金はいつのまにか羽が生えて飛んでいきます。何かおかしい。近年、「断捨離」が流行っています。それは、今の商業主義、消費文化、成長中心の日本経済、いろいろなことが行き詰っているのだと思います。

給与は多い方がいい。しかし、個別に事情は異なりますので言い切れませんが、少ないと思っている給与でも、今一度生活を見直すと案外やっていける余地が残っているとも思っています。でも、それは時代遅れの園長の独り言のように空しく響くだけなのかもしれません。



1月の行事予定

- 4日(火) 保育始め・お弁当日
- 10日(月) 祝日(成人の日) 休園
- 17日(月) 避難訓練(地震・非常食の試食)
- 18日(火) 幼児おもちつき 11:00~
(給食の主食として食べます。)
- 27日(木) 主食代・副食代等 口座振替日
- 27日(木) 5歳児冬の自然体験
(5歳児のみお弁当日)
※詳しくは後日案内いたします。
- 28日(金) 誕生祝福・誕生会
- ※毎週金曜日 7日・14日・21日・28日
10:00~ 幼児礼拝(橋本牧師のお話)

1月生まれのおともだち

さとうひかるさん	6さい
たにぐちりおさん	5さい
まえだよしおみさん	5さい
やまとひまりさん	4さい
かげひられんとさん	4さい

おたんじょうびおめでとう!

3・4・5才児 コスモ運動あそび

11日・25日の(火)

動きやすい服装・靴で登園してください。
大きすぎる服・ひらひらフリルのついた服ではなく、シンプルな服が動きやすくして適しています。また、靴も足のサイズにあった大きすぎないものを履いて来てください。

☆園庭開放☆

毎週水曜日 9:30~11:00

コロナ禍の中、今年度の取り組みはしていませんが、ご希望によっては園舎見学も可能です。また、子育てなどにストレスを感じておられる方対象に相談にも応じています。お友達やご近所の方にご案内いただけたらと思います。よろしくお願ひいたします。



~5歳児午後の活動開始~

くじら組5歳児は運動会后、午睡がなくなり、少し身体を休めた後、午後からも遊んで過ごしていましたが、1月からは他クラスの先生との関わりを持つことを楽しめるように午後の活動を始めます。日替わりで、文字あそびや数あそび、散歩学校巡り、製作(卒園製作・アルバム用)、おやつクッキング、その他いろいろな内容で、担任以外の職員と関わりながら午後の時間を過ごします。
※土曜日は引き続き午睡をしますので登園の場合は寝具の準備(月末に洗濯)をお願いいたします。

毎日、なにをやるのか
たのしみですね~!



クリスマス会献金の報告

クリスマス献金に60,030円が捧げられました。
ご協力に心より感謝いたします。ありがとうございました。
寄付先の報告は別にさせていただきます。

12月に入ってすぐに幼児クラスの子ども達に発熱、下痢・嘔吐の感染症が流行し始め、クリスマス会当日までハラハラドキドキの毎日でした。今年のクリスマス会も去年同様、5歳児の保護者2名のみのお参観ということにさせていただきましたが、例年通り尼崎教会の礼拝堂をお借りして、欠席児もいましたが、無事行うことができましたこと感謝いたします。ご理解・ご協力いただきありがとうございます。また先月の園だよりにて、子ども達がクリスマスクッキー作りをしてお家の方々にプレゼントすることをお伝えしていましたが、下痢・嘔吐の感染症が流行したことを考慮して今年度の取り組みとしては、子ども達の手作りは断念して給食室にて作っていただいたクッキーを持ち帰りますのでご了承ください。クッキーと共に持ち帰った保育園からのプレゼントで、この年末年始の冬休みに是非子ども達と遊んでいただき楽しいお正月をお過ごしただけだったらと思います。年明けの子ども達からの報告を楽しみにしています。また、私ごとで恐縮ですが12月の初めに保育園の玄関先の段差につまづき転倒し、入院・手術を経てようやく復職しつつあります。リハビリに少し時間がかかりそうですがよろしくお願ひいたします。 主任保育士 杉原圭美

